

第 17 回日本在宅医学会大会 シンポジスト 抄録集・ホームページ掲載用原稿

シンポジウムテーマ		「現場でのふとした疑問や課題：そこが研究の出発点」						
開催日	2015 年 4 月 25 日 (土)		時間	9:30-11:00		収容人数	150 名	
講師情報	ふりがな	姓	はまの		名	じゅん		
	ご芳名		浜野			淳		
	ご所属		筑波大学 医学医療系					
	部署					役職		

演題名 (80 字以内)

今日から始まる在宅臨床研究～入門編～

ご略歴 (300 字以内)

2002 年 3 月 筑波大学医学専門学群 卒業
 2004 年 3 月 筑波メディカルセンター病院 初期研修医 修了
 2004 年 4 月 筑波大学附属病院 総合医コース レジデント
 2006 年 10 月～2007 年 3 月 笹川医学医療研究財団助成「ホスピス緩和ケアスタッフに対する海外研修助成事業」にてオーストラリアで地域緩和ケア研修
 2007 年 4 月 医療法人 恒貴会 大和クリニック 院長
 2013 年 4 月 筑波大学附属病院 総合診療グループ、緩和ケアチーム
 日本プライマリ・ケア連合学会 代議員 日本プライマリ・ケア連合学会認定 家庭医療専門医・指導医
 日本在宅医学会認定 在宅医療専門医

講演概要 (1000 字以内)

本演題では、在宅臨床の現場から生まれる臨床疑問に自分自身が気づき、臨床研究の形にするプロセスを共有し、ワークショップ参加者自身が自分自身の臨床疑問を言語化し、研究にする意欲を持てることを目的とする。演者が関わっている在宅における臨床研究の始めるきっかけ、その後のプロセスを紹介し、在宅において臨床研究を行うことのやりがい、行ってみて分かった難しさを提示する。